

社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごと
ご相談はご遠慮なくどうぞ
☎町内35-1270

生活困窮者自立支援制度 (自立相談支援事業)のお知らせ

苓北町社会福祉協議会では、生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業)の相談窓口を開設しています。

健康面、生活面、経済面など、どのような内容でもお気軽にご相談ください。

相談員が、各ご相談に対応できる機関や制度、団体などと連携し、皆さまの地域生活のお手伝いをします。

来所での相談のほか、電話での相談やご自宅などへの訪問相談も行いますので、お気軽に問い合わせください。

<主な支援内容>

○就労準備支援事業

～就労への第一歩です～

「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な人に、就労に向けた訓練や就労の機会を提供します。

○家計相談支援事業

～家計の立て直しについてアドバイスします～

家計状況の課題を整理し、自ら家計を管理し続けるように、状況に応じた支援計画の作成や貸付の斡旋などを行います。

○子どもの学習援助事業

～子どもの明るい未来をサポート～

子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止などについて、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

○一時生活支援事業

～宿泊場所や食事等の提供～

決まった住居のない人に、一定期間の宿泊場所と食事などを提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。

○住居確保給付金
～家賃相当額を支給～

離職などにより住居を失った人、または失うおそれの高い人に、就職に向けた活動を行うことなどを条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。

苓北町共同募金委員会 赤い羽根共同募金運動に ご協力ください



赤い羽根共同募金運動は、住民相互のたすけあいに支えられ75回目を迎えました。

この運動は、地域福祉の推進を目的として、住民参加による社会福祉コミュニティづくりを実現するため、多様な民間社会福祉活動を財源面から支援する役割を果たすことが求められています。

本年も、10月1日から12月31日までの3カ月間、新しい寄付の文化の創造を目指し、住民相互のたすけあいの心から行われる共同募金運動を積極的に推進します。

町民皆さまには、さらなるご支援とご協力をお願いします。

あなたの町の募金は、
あなたの町のために使われています。

赤い羽根共同募金



☎ 苓北町共同募金委員会(苓北町社会福祉協議会内)
☎35-1270

無料でお譲りします 福祉機器リサイクルコーナー

▶バウンサー
1台



▼申込受付期限

希望する人は、10月8日(金)までに苓北町社会福祉協議会へお申し込みください。

希望者多数の場合、抽選になります。

抽選は、10月11日(日)午前9時から、苓北町保健センターで行います。



<プロフィール>

苓北町都呂々木場で田中家の8人兄妹(男4人・女4人)の末っ子の四女として生まれる。小学校は木場小学校であったが、中学校は都呂々中学校で、歩いての通学で距離があったので親も子も心配が多く大変であった。

当時は自転車通いの男の子が1人いたくらいで、後はみんな歩いての通学が当たり前でもあった。

卒業後は就職があまりなく、ワカエさんは姉の子どもの子守りの手伝いをしたり、若松市(現在の北九州市)に行き農業の仕事をしてきた。トマト・キュウリやキャベツなどの栽培が主で、都呂々や福連木からは同じようにして、多くの人が若松市でその農業の仕事をしてきた。仕事が休みの時は友達と出かけて、戸畑(福岡県)の見物に行ったりしていた。

しばらくして、ワカエさんの兄の紹介でのちにご主人となる満男さんに出会う。兄の「ちょっと会ってみないか」の言葉から、昭和34年3月2日に結婚をすることになった。結婚後は4人(男2人・女2人)の子宝に恵まれる。(現在は、孫が7人、ひ孫が2人いらっしゃる)

そして、結婚して約半年後の9月14日に忘れもしない出来事が起こる。大きな台風がきて大波に襲われて、タンスの洋服も流されてしまい着の身着のまま避難をして大変な苦勞をしたことである。

それから月日が流れ、昨年4月にご主人の満男さんが亡くなられて寂しい思いもあるが、今のワカエさんにとっての一番の楽しみは孫・ひ孫の成長である。本渡に住んでいるお孫さんが、ペットサロン(トリミングサロン紅~kou~)を最近オープンされたこともその一つである。

「孫たちが『ばあちゃん』と言って遊びに来てくれるのが楽しみです」
ワカエさんは笑顔で話しました。



可愛いひ孫たちと一緒に▶
※ワカエさんが話された内容で掲載しております。

苓北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる
『たっしゃかもん』をご紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.244

「ばあちゃん」と言ってきてくれる。
孫たちの成長が楽しみです!

ひら た 平田 ワカエさん

(昭和11年4月12日生まれ) 満85歳 浜区在住

問 好きな食べ物

そうねえ~生魚は苦手だけど煮付けは食べるし、アワビやイカ・タコは好きです。あと、エビのみそ汁が好きです。肉とか野菜は、普通に食べとります。

問 好みの異性のタイプは

私は、楽しい人が好きです。芸能人で言うと、(活動休止はしたけど)ジャニーズアイドルの「嵐」が好きでした。特に、相葉くんがおもしろいので良かったですね(笑)

問 私の趣味

テレビで歌番組を見ますね、演歌とか。それと、夜に眠れない時にぴんからトリオの出ているラジオを聴きます。聴くと落ち着いて眠れます。

問 私の健康法

毎日の日課で、朝から犬の散歩に行きます。だいたい500メートルくらいは連れて歩くので、それが自然と運動になっているかもしれないですね。

問 思い出

造園土木の仕事に勤めていた時に、みんなで楽しく働いたことです。良くしてくれる仕事仲間が多かったですし、昼の休憩も楽しかったです。それと別の話ですが、旅行でお姉さんたちと一緒に長崎の佐世保に行ったことが心に残っています。ハウステンボスが楽しかったですね。

問 町へのメッセージ

お父さん(ご主人の満男さん)が病院に入院している時に、バスの便があったら良かったのですが、当時はなくて。でも今は町の無料バスがありますし、10月からは新しく今までよりもこまか(小回りの利く)バスが始まり便利になるようなので助かりますね。



十萬山公園での記念の一枚▶